

## 平成25年度土木学会 スタディーツアーグラント報告

土木学会は創立75周年の記念事業で集められた学術交流基金を活用し、スタディーツアーグラントとして毎年海外協定学会の推薦を受けた土木学会優秀な学生や若手技術者を日本に招聘している。今年度はMr. Pham Thanh Tung (ベトナム)、Mr. Pich Chanvichet (カンボジア)、Mr. Ali Bin Sohail (パキスタン)の3名の学生(学部2〜4年生)を8月29日から9月7日までの10日間日本に招聘した。



写真1 NEXCO東日本 新葛飾橋(鋼上部工)工事視察

滞在中は、施工現場や研究所、大学、東北被災地を訪問し、最後の3日間は土木学会全国大会に参加するなど、多忙なスケジュールではあったが、3名とも終始目をいきいきとさせ、どの行事にも大変積極的に参加していた。

施工現場としては、NEXCO東日本発注の橋梁および道路の現場を見学し、日本の技術、品質管理のレベルに感嘆するとともに、母国にどのように生かしていくかを真剣に考えている様子であった。土木研究所では耐震や水理実験、また鹿島技術研究所では耐震、省エネ、新素材などの実験施設や最新の技術に接するとともに、基礎研究の重要性を実感したようである。また、東京工業大学では日本人学生・留学生と交流を行い、留学や就職など自身の将来を語り合うなど親交を深める機会となった。

さらに今回は、東日本大震災による被災や復興の状況を視察するツアーを実施した。母国では津波や地震はほとんど問題視されていないようであるが、視察先の一つであった女川でビルが転倒・倒壊している様子を目の当たりにしたときは、言葉を失っている様

子であった。ある学生は、この視察に加えて、日本滞在中にたまたま震度3の地震を経験したということもあり、帰国時には防災の重要性を強く認識するようになったと感想を述べていた。

最後の3日間は、日本大学で開催された全国大会に参加し、サマージンポジウムを聴講するとともに、多くの国際パネルディスカッション関係者や海外分会関係者と交流を持った。また、国際セ

ンター主催の若手技術者国際ワークショップにも参加し、多くの留学生と活発な議論を交わし、その夜の交流会では日本への留学についていろいろと情報収集を行っていたようである。

彼らがゆくゆくは母国のインフラ整備を牽引する人材に成長していく中で、今回のツアーが土木技術者としての視野を広げ、また将来日本と彼らの国との交流に少しでも役に立つことができれば望外の喜びである。ここにツアーの無事終了を報告するとともに、実施に際して多大な協力をいただいた



写真2 宮城・石巻 津波被災現場視察

いた関係各位に感謝の意を表する次第である。

(学術交流基金管理委員会スタディーツアーWG 高木 泰士(東工大)、上野成三(大成建設)、鈴木 泰之(建設技研)、柳川 博之(土木学会))

**「古屋圭司 国土強靱化担当大臣」をお招きした土木学会特別講演会 ― 国土強靱化を目標して ― を開催**

2011年3月に発生した東日本大震災等を踏まえ、政府は国土強靱化政

表1 講演会プログラム

開催日	2013年8月26日(月)	
開催場所	土木学会講堂、AB会議室(サテライト会場)	
時間	講演テーマ	講師
13:00~13:10	開会挨拶	土木学会会長 橋本鋼太郎
13:10~13:50	「高齢化する高速道路資産の強靱化に向けて」	
		東京大学名誉教授・特任教授 藤野陽三
13:50~14:30	「臨海部コンビナートの地震・津波に対する強靱化」	早稲田大学教授 濱田政則
14:30~15:10	「地震に対する橋梁の強靱化」	東京工業大学名誉教授 川島一彦
15:10~15:50	「40の被害地震からの国土強靱化への教訓」	
		東京大学名誉教授・横浜国立大学教授 小長井一男
16:00~17:00	「国土強靱化を目指して」	国土強靱化担当大臣 古屋圭司
17:00~17:10	閉会挨拶	土木学会専務理事 大西博文

策を推進しようとしている。土木学会では、9月1日の防災の日を前にした8月26日、国土強靱化を担当されている古屋圭司大臣を講師としてお招きし、特別講演会を開催した。

講演会プログラムは表1に示すとおり、構造工学、地震工学の第一人者である4名の先生方および古屋圭司大臣



写真1 古屋圭司大臣の講演

から国土強靱化に関する国の政策などについてご講演をいただいた(写真1)。現在重要政策として注目されている国土強靱化政策などについて貴重なお話を伺うことができ、きわめて有意義な講演会となった。また、会場としては講堂のみならずサテライト会場を設け、参加者は報道関係者を含め170名を上回り、盛況であった。

当日、講演会の模様をUstreamによりインターネット配信を行い、現在ホームページ上で公開中である。  
<http://committees.jsce.or.jp/jsceoffice/node/61>  
 (地震工学委員会 木全宏之(清水建設(株)))

## 土木学会の本



### 【創立100周年記念出版】

## 継続は力なり - 女性土木技術者のためのキャリアガイド

土木学会、土木技術者女性の会、地盤工学会の三つの団体が協力して、女性土木技術者を応援する本をつくりました。多様な分野、経歴、年代の10名の女性土木技術者が語る「仕事における最大の危機」や「アドバイス」、アンケート調査によるQ & A等々により、多様なロールモデルの情報を提供します。また、三団体の会長が、これからの女性技術者を支援する取組みについて決意を語ります。資料編として、女性土木技術者の歩みや各種のお役立つ情報をまとめました。

本書は、すでにキャリアをスタートさせた女性土木技術者、これから土木技術者になることを目指す女子学生、そして、彼女たちを支援する職場や学校のスタッフの方々を対象としています。土木技術者として、女性として、現状に戸惑ったときや将来に不安を感じたときに手に取ってください。本書には参考となる経験例や、背中を押してくれるメッセージが詰まっています。各種の研修やキャリア教育の現場などでも、ぜひご活用ください。

■編集：教育企画・人材育成委員会 ダイバーシティ推進小委員会(委員長：山梨大学・岡村美好)

■2013年1月発行、A5判、114ページ、並製本

■定価：1,890円(本体1,800円+税)→**会員特価：1,710円**※注

■送料：450円

ISBN 978-4-8106-0748-2

注文・  
問合先

土木学会 出版事業課 書籍販売係  
 TEL 03-3355-3445 / FAX 03-5379-2769

■Web注文 <http://www.jsce.or.jp/publication/>  
 ■FAX注文 学会誌総込み「図書注文書」をご使用ください

丸善出版(株)

TEL 03-3512-3256 / FAX 03-3512-3270

※注)丸善出版への注文には会員特価は適用されません